

■サウジアラビア：エネルギー相、天然ガス生産倍増と石油利用抑制を示唆

2016年11月17日付の報道によれば、サウジアラビアのファリハエネルギー大臣は、国内の天然ガス生産量を倍増させ、天然ガスを発電用の石油の代替の役割を果たすことにより、石油消費量を抑制する方針を打ち出した。モロッコで開催されていた国連気候変動会議での発言である。サウジアラビアには、世界第5位となる291兆立方フィートの天然ガスが埋蔵されている。ファリハ大臣は、原子力と再生可能エネルギーも重視するとしている。